

令和二年度大学院入学試験問題

(後期募集)

学校教育専攻

学校教育深化コース（文理深化領域 国語分野）

注意事項

- 1 問題用紙と解答用紙は別である。解答用紙のおもて面に解答を記入することとし、裏面に記入してはいけない。
- 2 「一」国語科教育、「二」国語学、「三」国文学、「四」書写書道の4科目から1科目を選択し、選択した科目名を解答用紙の表紙に記入すること。
- 3 解答用紙は、当該問題用のものを使用すること。
- 4 受験番号は、解答用紙の表紙、及び選択した問題の解答用紙にのみ記入すること。
- 5 試験終了後は、すべての解答用紙を回収する。問題用紙は持ち帰ること。

〔一〕国語科教育

1 平成二十九年三月に告示された小学校学習指導要領では、書く力を育てるための方法として、「書いた文章を互いに読み合う」といった交流に関する指導事項が示されている。この「互いに読み合う」ということの意義について説明を加えながら、小学校、または中学校における授業づくりの方法や指導上の留意点についてあなたが考えることを具体的に論じなさい（六〇〇字以内）。

2

次の3つの中から2つを選び、それぞれについて説明しなさい。具体例を挙げてもよい。

- (1) 「聞くこと」の学習指導の教材
- (2) 俳句や短歌の創作指導を行う際の留意点
- (3) 国語教育における朗読指導の効果

〔二〕 国語学

1 「文法」という用語を、その問題点に触れながら、説明しなさい（六〇〇字以内）。

2 次の4つの中から2つを選び、答えなさい。

(1) 漢語サ変動詞の品詞性に関わる諸問題について、説明しなさい。

(2) 格助詞「が」と「主語」との関わりについて、説明しなさい。

(3) 延べ語数と異なり語数との違いについて、説明しなさい。

(4) 方言文法の構築が果たす日本語学への貢献について、説明しなさい。

〔三〕 国文学

- 1 文学研究において、対比関係に着目する解釈方法の意義や留意点について、あなたの経験をふまえて具体的に述べなさい（六〇〇字以内）。

- 2 次の詩は、萩原朔太郎「孤独」（『月に吠える』大正六年）である。この詩の内容を簡潔に説明したうえで、主題や表現の特徴などについて述べなさい。時代状況や作者について言及してもよい。

孤独

田舎の白っぽい道ばたで、
つかれた馬のこころが、
ひからびた日向の草をみつめてゐる、
ななめに、しのしのとほそくもえる、
ふるへるさびしい草をみつめる。

田舎のさびしい日向に立つて、
おまへはなにを見てゐるのか、
ふるへる、わたしの孤独のたましひよ。

このほこりっぽい風景の顔に、
うすぐ涙がながれてゐる。

「四」書写書道

- 1 書写の指導のあり方について、日常生活に用いる筆記具や学習に用いる筆記具を視点として用いつつ、述べなさい（六〇〇字以内）。

- 2 次の4つの中から2つを選び、書写書道もしくはその教育的観点から説明しなさい。

- (1) 点画の接し方
- (2) 禮器碑
- (3) 寸松庵色紙
- (4) (六書の一つとしての) 形声

※必要な場合、解答用紙の枠の範囲内において図示することを認める。